

「学校・アート・出会い・プロジェクト」 あいさつ

副校長 堀江 嘉明

本日と9月21日の2回にわたり、「こどもアトリエてくてく」から講師の先生をお招きして、「色砂」について体験する特別の授業をしていただきます。

さて、「こどもアトリエてくてく」は、京都府亀岡市にある100年前に建てられた古民家を改造してつくられた「こども造形教室」です。「てくてく」と「自分のペースで歩いて欲しい、考えて欲しい」という願いを込めて名付けられたとお聞きしております。

(<https://www.atelier-tekuteku.com/home> より一部引用)

「頭に思い描いたことは必ずかたちになる」というスローガンの下、こどもたちの「作る」ことを通じて「自分の頭で考えて行動する」「『やってみたい』という気持ちを大切にする」活動を行ってられます。ぜひ、行永分校の皆さんにも体感してほしいと思い、今回、お越しいただきました。

行永分校の皆さん

今、目の前の様子を見て、「何だろう？何が起こるだろう？」と心の中は「ソワソワ」していることでしょう。しかし、今から始まる活動を通じて、一歩ずつ「てくてく」と自分のペースで色砂づくりを進めていきましょう。そのうち、心の中の「もっと『やってみたい』という気持ちがさらに深まり、心の中の「ワクワク」ぶりもドンドンふくらんでいくことでしょう。

この特別の授業を通じて、皆さん一人一人が「きらきら」と輝き心の中をほっこりと「ヌクヌク」温かくなっていってほしいと願っています。